

検証テーマ：産業競争力強化のためのグローバル知財システムの構築

「海外における知財権取得支援」（推進計画2013項目番号【1】【2】【3】【9】【10】）

工程表の記載

具体的な取組	概要
特許庁審査官のアジア新興国知的財産庁への派遣	現在、先進国を中心に実施している短期審査官派遣（国際審査官協議）の対象国を拡大し、アジア新興国との間で順次国際審査官協議を開始する。（短期）
	アジア新興国に対し、我が国特許庁の審査官の長期派遣及び知財システム整備によりアジア新興国知的財産庁の審査能力向上に向けた支援を実施する。（短期・中期）
	我が国企業のニーズや相手国との交渉状況などを踏まえ、どの国に相当規模の審査官を派遣するかという点や、審査官長期派遣の具体的なスキームについて検討し、結論を得る。（短期・中期）
知財システムのグローバル展開に向けた基盤整備	審査官派遣先アジア新興国において我が国と同様の審査結果が出せるように、先行技術調査のための検索環境整備の在り方について、他国や国際機関の検索システムが既に浸透している国もあることを踏まえた上で検討を行う。（短期）
	審査官派遣先アジア新興国において我が国と同様の審査結果が出せるように、関連する出願の他国審査結果情報を一括して取得するための審査用情報システムを整備する。（短期・中期）

取組状況

- 審査官派遣のための予算と定員について、拡充要求。
- 短期審査官協議: 海外特許庁に審査官を1~2週間派遣し、また、我が国にて海外の審査官を受入れ、日本・海外の共通出願についての議論や海外特許庁への研修等を通じ、他庁におけるサーチ・審査実務の把握、我が庁のサーチ・審査結果および手法の利用を促進。
→ 2013年度は、欧、中、韓、独、台、露、スペイン、スウェーデン、メキシコ、インド、ブラジルに加え、新たにシンガポール(8月)、ベトナム(6月)との間で審査官協議・会合を実施予定(一部実施済)。
- 長期審査官派遣: 審査官を1~3ヶ月間派遣して派遣先国との強固な信頼関係を構築し、調査・共同作業・連絡調整等を実施することで我が庁の施策・取組を推進。
→ 昨年度から実施している米、欧に加え、2013年度は中国、シンガポール等に審査官を長期派遣し、派遣先国における知財システム整備支援を実施予定(一部実施済)。
- 五大特許庁(日米欧中韓特許庁)の特許審査情報を一括して取得できる出願・審査情報共有システム(ワンポータルドシエ)を本年7月に稼働。
- ワンポータルドシエと、豪・加・英各知財庁が参加する出願・審査情報共有システム(WIPO-CASE)を接続させる対応を進めるとともに、ASEAN各国に対しても、当該システムへの参加を働きかけている。
- 我が国審査官が派遣先のアジア新興国からも文献照会可能なデータベース(共通特実検索システム)の構築に向け、開発業者の調達手続きを進めている。

課題・今後の展望

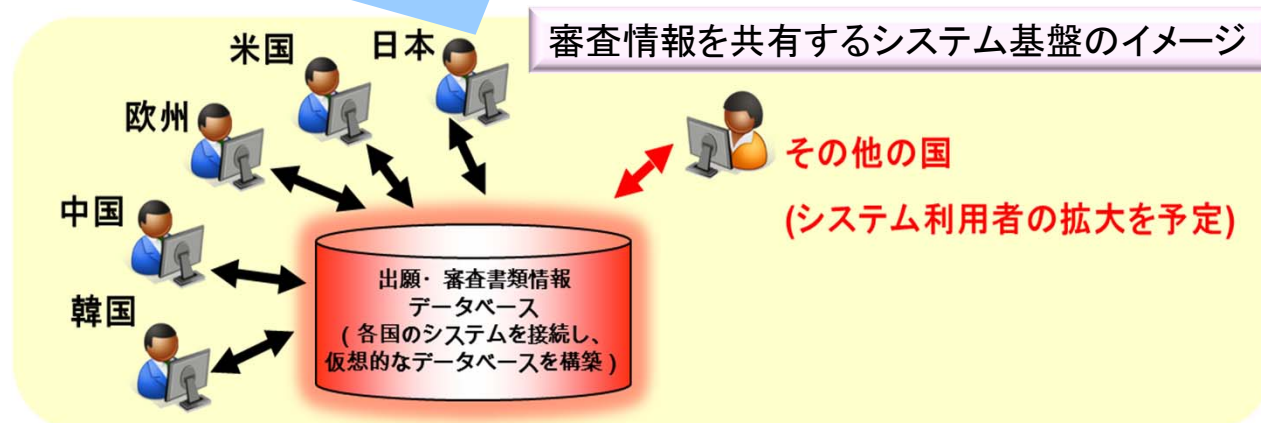
- 各国特許庁とのバイ会談等を通じて、アジア新興国等を含め審査官派遣先の拡大を図る。
- 日本の審査官をアジア新興国知的財産庁へ派遣し、派遣先国の審査体制の成熟度に応じた審査協力を実施することで、日本企業がアジア新興国において日本と同様の感覚で知的財産権を取得できる環境を整備。
- 今年度中にワンポータルドシエとWIPO-CASEを接続し、各庁の特許審査情報を統合して一元的なサービスを提供するためのシステム整備を目指す。
- 共通特実検索システムを利用した文献照会サービスを2016年1月より提供する。

ワンポータルドシエ

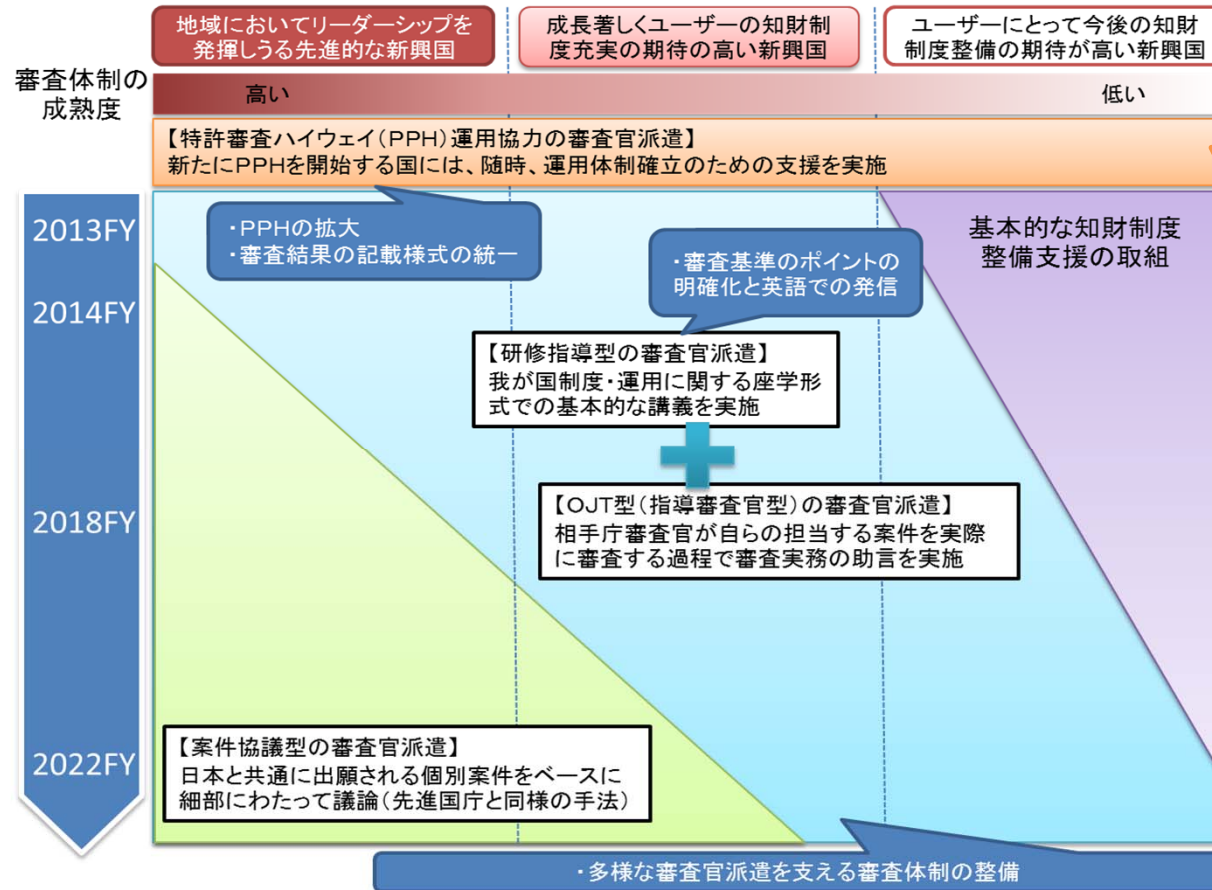
- 各国の特許庁が保有する出願情報・審査結果情報を一括で取得可能とするシステムを構築することにより、特許庁間でのワークシェアリングの促進に貢献。
- 日米欧中韓の五大特許庁間において、各庁が保有する出願情報・審査結果を、一括で取得可能とする審査情報共有システムが本年7月に稼働開始。
- 今後、審査情報共有システムを五大特許庁以外の国々（アセアン各国等）も利用できるよう、WIPOと協力してシステム基盤の整備を推進。

各国の審査結果情報を一括で取得

JAPAN		Country A	Country Z
DATE	DOCUMENT	DATE	DOCUMENT
** .05.2008:	Request for a Patent	*****	XXXXXXXX
** .05.2008:	Description	*****	XXXXXX
** .05.2008:	Abstract	*****	XXXXXXXX
** .07.2010:	Request for Examination	*****	XXXXXXXX
** .11.2011:	Notification of Reasons for Refusal	*****	XXXXXXXX
** .01.2012:	Written Argument		
** .04.2012:	Decision to Grant a Patent		



各国の状況に応じた審査協力のロードマップイメージ



<ASEANのPPH締結国>

シンガポール

インドネシア

フィリピン

タイ (2014年1月1日開始予定)



ユーザーニーズが高く、
ある程度審査体制が成熟
した国から順次拡大